

(株)フクナガエンジニアリングとお客様をつなぐコミュニケーション誌

# FECO NEWS

フェコニュース

2012. Early Autumn vol.42

## 里山の風景 vol.2

「秋来ぬと目にはさやかに見えねども風の音にぞ驚かれぬる」(藤原敏行)。虫の声が変わり、風の音が変わりました。もうすぐ秋の爽りです。小さい秋、みつけた。





# 身近な金属リサイクル 〜どのように金属は生まれ変わるのか?〜



金属は繰り返し、リサイクルされ生まれ変わりますが、みなさんはどのように生まれ変わっていくかご存知でしょうか？  
みなさんの身近にある飲料缶、自動車、バイクなどの原料になるアルミはどのようにリサイクルされて、各国によってどのような違いがあるのでしょうか。  
みなさんも身の回りにあるアルミのリサイクルについて、一緒に考えてみませんか？



## 「神戸メタル株式会社」インタビュー

今回は、長年フクナガともゆかりがあり、アルミを中心に海外貿易に携わっておられる神戸メタル有限会社の代表取締役竹田俊夫さんにお話を伺いました。

製品の品質も保たれると思います。



一般の人たちを知ってみたいという意欲はありますか？

資源には限りがある。言い尽くされた言葉ですが、次世代へより良い地球環境を残すため、使い捨てた生活からの脱却と3Rの実践を促したいと思えます。一部の産業界からは疎まれるかもしれませんが、大量生産・大量消費の時代は日本では終焉を迎えました。今後は古い物を大切に使う(Reuse)ゴミ・廃棄物の発生を減らす(Reduce)、そして最後にRecycleの輪を広げていってほしいと願っています。



アルミは、リサイクルされてどのような製品に生まれ変わるのですか？

一般になじみのある製品としては、自動車のエンジン・トランスミッション、廻りならびにアルミホイール、ビル・住宅のサッシその他の建材、調理用の鍋・フライパン・ケトル等に再生されています。それ以外にも、鉄道車両・トラックのボディ・貨物用コンテナ・アルミポット・キャンプingkカーなどの大型のものから、家電製品のデリケートな部品まで様々な分野で製品化されています。



アルミも含めた金属のリサイクルという概念は、洋の東西を問わず変わらないと思います。ただ人件費の壁は大きく、3Kを嫌う欧州などでは80年代にはすでにカーシユレッダーが導入され、人手の掛からないリニア・比重選別がスタートしてしました。一方東南アジアなどの(当時の)後進国では、豊富な人海戦術で、きめ細かい選別・除鉄・梱包などを手がけており、今でもその名残があります。日本はこの二極の中間的な状況で、最近では人件費を抑えるため大型の処理設備・重機・ペイラー等が増え欧米型に近づいているようです。スクラップの輸出の歴史が浅い日本では、国内のユーザーの要求もありトラックでの荷降ろしに便利な梱包を優先してきました。しかし、自国



アルミリサイクルにおいて、良い材料、製品を作るためのポイントは？

まずリサイクルはコストの問題が環境負荷かを考えるとき、私は躊躇なく後者を採ります。最終製品の品質向上のためには、不純物の少ない原材料が欠かせません。つまり異種の素材が混在しないこと、そのために製品設計の段階ですでに実践されていますが、廃棄時の処理リサイクルを考慮に入れた製造が不可欠です。さらに原料取り扱い業者のモラル・メンタリティーを(世界的に)高め所謂「くず屋」のイメージから脱却し世界に通用する高品質の原料を供給する信頼の置けるリサイクル業者を支援すること、それが産業界全体の利益につながり、



長年、貿易に携わってこれたこともあり、日本のみならず海外の事情についてもお答えいただきました。捨てる前にひとりとりが「再利用できないか」「リサイクルできないか」を考え、日ごろから無駄にならないかを意識していきたいですね。ありがとうございます。



日本と海外各国でのアルミリサイクルの状況に違いはありますか？あるとすれば、どのようなところが違うのでしょうか？

アルミはどのようにリサイクルされるのでしょうか。アルミ缶を例に見てみましょう



フクナガエンジニアリングのお役立ち

ベトナムハノイにローカル会社を設立しました!

現地レポート in ハノイ

ベトナムってどんな国?

ベトナムに初めて来た日本人が一番びっくりするのが「単車が多い」ことです。更に仕事の時間に道に出たら「どうしてこんなに道に人がいっぱいいるの?」と必ず聞かれます。ベトナムは日本と違い、バス・電車などの共通移動手段が少なく、皆バイクで移動するため、たくさん人がいるように感じるのです。熱帯国に生まれたベトナム人は熱い心・仕事に対する熱心な姿勢・周りの人に対する温かい気持ちを持ち、毎日楽しい生活を送っています。また若者が多く、元気いっぱいな国です。



東南アジアでのアルミリサイクルの状況を神戸メタル竹田さんにもインタビューで答えていただきましたが、ベトナムでのアルミリサイクルの状況はどうなっているのでしょうか?

日本は世界第一のアルミリサイクル技術を持っています。ベトナムのアルミリサイクル技術は日本と比べられないレベルです。日本では近代的な機械を使って最新技術を導入していますが、ベトナムではまだ小さい坩堝(るつぼ)で溶かしていて、効率が非常に低い。ベトナムのリサイクル産業は、これからが本番です。ベトナム政府にも応援されている産業です。



私がレポートします。

Doan Thanh Mai  
(ドアン・ティン・マイ)

最初はリサイクルという仕事は堅くて、女性に合わない仕事としましたが、その通りではないことが分かるようになりました。もう使えないと思われたものをリサイクルして役に立つものにする仕事は毎日楽しくやれる仕事ではないかと思えます。



会計士  
Nguyen Hai Anh  
ハノイ事務所 (クエン・ハイ・アイン)

ベトナムフクナガは、まだスタートしたばかりで、金属スクラップを日本から輸入してベトナム国内へ販売。また、ベトナム国内の金属スクラップを購入して、日本・その他の国へ輸出することを目標に日々頑張っています。ベトナム現地アルミ合金メーカーと提携し、アルミ合金の製造・販売も行っていく予定です。

フクナガベトナムは、ハノイ現地法人のライセンスを取得しており日本語対応可能なベトナム人スタッフがおります。日系企業様の金属スクラップのリサイクルについて、お気軽にお問い合わせください。



フクナガで働くスタッフをクローズアップ!

## フクナガの愉快的仲間たち

リ・メタル事業部

藤沢 徹 (ふじさわ とおる)

●自分の性格をひとことで言うとは?

マイペースに生きてきました。

●現在のマイブームは?

探していきます。

●仕事にかける意気込みを一言!

何事も笑顔で頑張ってください。



### 先輩社員からの一言

リ・メタル事業部

永田 展一 (ながた のぶかず)

「暑い中現場で

頑張ってください!」



## プルタブ・アルミ缶 回収運動レポート

vol.2

みんなで集める福祉にひろがる会

第3期 上半期報告 (2012年1月1日~6月30日)

6月30日現在の会員様 326団体

集まったプルタブ・アルミ缶の量

プルタブ	5,688.60kg
アルミ缶	4,911.50kg
車いすの寄贈数	13台



第2期までの事業報告なども下記URLでご確認いただけます。

<http://www.pull-tab.or.jp/>

活動を検討されているという方も一度ご覧ください。



## ほっこりフクナガ写真館 vol.2

前号のテーマ「絆」の  
写真投稿、  
ありがとうございます。

大阪府大阪市  
中川 千紘さんより

山梨県北杜市の実相寺境内にある  
神代桜という、古い桜の木です。

今年の春に行ってきたときの写真です。

樹齢は1800年とも2000年とも

言われています。

長い間咲いていられるのも、みんなが  
守っているからで「絆」につなげてみました。

長く守りつないでいく、まさに絆ですね。



先着20名様にクオカード  
500円分をプレゼント。  
ご応募いただいた画像データ (jpg) は、  
この写真館のみに使用させていただきます。



応募先メールアドレス

[feconews@ecosoft.co.jp](mailto:feconews@ecosoft.co.jp)

締め切り: 2012年10月5日

撮影日と場所、お名前を添えていただければひとことコメントをいただければ嬉しいです。

今号のテーマは「旅」。

思い出に残っている写真をお送りください。

「こんなところ知ってる?」「綺麗でしょ」「びっくりした」「気持ちいいから行ってみたい」など、全国各地、海外各地のワクワクときどきスポットをお寄せください。

### 編集後記

私も仕事でベトナムに何度か足を運びました。私の中でベトナムの文化は、色彩豊かなイメージ。ベトナムのアオザイは、伝統的な衣装として有名ですが、学校の制服として着られるなど、普段から見かけることもしばしば。上下の色の組み合わせが鮮やかで、ベトナム女性の美しさに目を奪われます。市場には、天井まで、色とりどりの布が並べられています。

一方で、ベトナムの首都ハノイを離れた北部の山岳民族の伝統衣装は、パッチワークが美しい。山岳民族それぞれによって、違いがあり、どの衣装も美しく、素敵な色遣い。ベトナムは、様々な民族からなる国。一言では言い表せないくらいに様々な顔を持つ魅力的な国です。



渡邊 花

(わたなべ あや)

※省エネ・省資源にともない、私たちはフェコニュースをPDF版にて配布しております。ご賛同いただける方は、アンケート用紙にメールアドレスをご記入ください。次回よりメールでお送りいたします。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



発行元: 株式会社フクナガエンジニアリング  
〒536-0014 大阪府大阪市城東区鳴野西5-13-30

tel: 06-6969-7657

fax: 06-6969-3633

e-mail: [feconews@ecosoft.co.jp](mailto:feconews@ecosoft.co.jp)

URL: <http://www.ecosoft.co.jp>

